

## 第5回教育支援コーディネーター・フォーラム(報告⑤)

### 第2部 テーマ別分科会 (13時30分から16時30分まで)

#### □ 分科会Ⅱ「放課後子供教室と企業・NPO等との連携を考える」 □ 【二庁ホール】

放課後子供教室は、平成19年度よりはじまり、今年で5年目を迎えます。各地で行なわれる放課後子供教室の中に、企業・NPO・団体等と連携して放課後子供教室の活動の充実や運営スタッフの力量の向上を図っている事例も生まれてきました。このことから、今回初めて、放課後子供教室に関する分科会を設けることができました。

分科会Ⅱでは、103名が参加し、放課後子供教室の活動事例をもとに、放課後子供教室の活動と企業・NPO・団体の教育支援活動がどのように連携していけるかを考えていきました。

#### (1) 事例発表Ⅰ 練馬区立石神井小学校学校応援団「科学教室」

今年の夏休み、「練馬区立石神井小学校学校応援団」と「一般社団法人 ディレクトフォース」が、1年生を対象にした「冷却パックをつくろう」、4年生を対象とした「紙飛行機をつくろう 飛ばしてみようエアバスA380」等の理科実験に取り組みました。



練馬区立石神井小学校学校応援団事務局長  
坂本恵津子さん



前回の「教育支援コーディネーター・フォーラム」に参加した時、「ディレクトフォース」と出会い、いろいろな理科実験のメニューを持っていたのでお願いしました。「科学教室」を行うにあたって、事前に近くの小学校で「ディレクトフォース」が行っていた実験の様子を見て、参加する子供の保険料、実験の材料費、器材の運搬費の費用の工面や当日使う名札をグループ別に色分けする等の準備をしました。

一般社団法人 ディレクトフォース  
萩原 秀留さん



近年、日本の「ものづくり」が危うい状況になっていることを憂い、現役時代、会社役員や先端技術を開発したメンバーが理科教育ボランティア活動を始めました。

理科実験を通じて、小学校低学年には、実験を経験して感動してもらい、高学年には、中学・高校生になった時に実験をやった事を思い出す機会になればいいと思いながら取り組んでいます。

## (2) 事例発表Ⅱ こだいら放課後子ども教室実行委員会

### 八小子ども教室キラキラ☆らんど「自主研修会」の取組

こだいら放課後子ども教室「八小子ども教室 キラキラ☆らんど」では、「自主研修会」として保護者を対象にした「安全講習会」や運営スタッフを対象とした「定期安全研修会」を実施しています。昨年度は、「うさぎママのパトロール教室」による不審者対応等を含む「安全講習会」、今年度は、株式会社NTTドコモによる「ケータイ安全教室」にて災害用伝言板の体験を実施してきました。

### 「八小子ども教室キラキラ☆らんど」コーディネーター 井戸 雅子さん

平成16年に東京都が実施していた「安全管理研修」をきっかけに、子供たちが安心・安全に楽しく過ごせるために独自の「自主研修」を行っています。救命講習は毎年実施しています。また、月1回、登下校を見守る「みまもりネットワーク」と意見交換をして、今年度は地域の「安全マップ」を作成しました。現在は、地震に対応できる「安全管理マニュアル」を作成しています。



### 「うさぎママのパトロール教室」主宰 武田 信彦さん



子供を守るには「地域のちから」「子供のちから」「大人（保護者）のちから」の3つの力が大切です。

安全教室は、「地域」「子供」「大人（保護者）」のすべての人を対象にしていく必要がありますので、事前に講師に子供の様子や地域との関係などを教えておいてもらおうと、より深まった研修ができます。

### 株式会社NTTドコモ 社会環境推進部社会貢献担当課長 川崎 優美さん



NTTドコモでは、2004年(平成16年)より携帯電話の安心・安全な使い方、使う上でのルールやマナーを学ぶ「ケータイ安全教室」を無料で開催しています。

「ケータイ安全教室」では、迷惑メール対策や出会い系サイトの危険性に関する内容、災害用伝言板等の災害時に身を守るためのサービスの紹介や映像教材も御用意しています。

ぜひ、コーディネーター等関係の方々にご受講いただき、子供たちへの啓発活動等にお役立ていただければと思います。

#### 〔第二部分科会Ⅱの感想〕

##### 企業

・他の企業・団体の活動内容を聞かせていただき、今後の活動にたいへん参考になりました。現在行っている内容以外にも、広がりを持たせることができないか、検討していきたいと思っております。

##### コーディネーター

・とても参考になるものばかりでした。活動がマンネリ気味で、何かと考えていたので、とても良かったです。具体的な報告だったので持ち帰って皆と早速話してみます。

##### 教育行政関係者

・連携を考える上で、実際の様子を見たり、具体的な話を聞くことができ、大変役に立ちました。